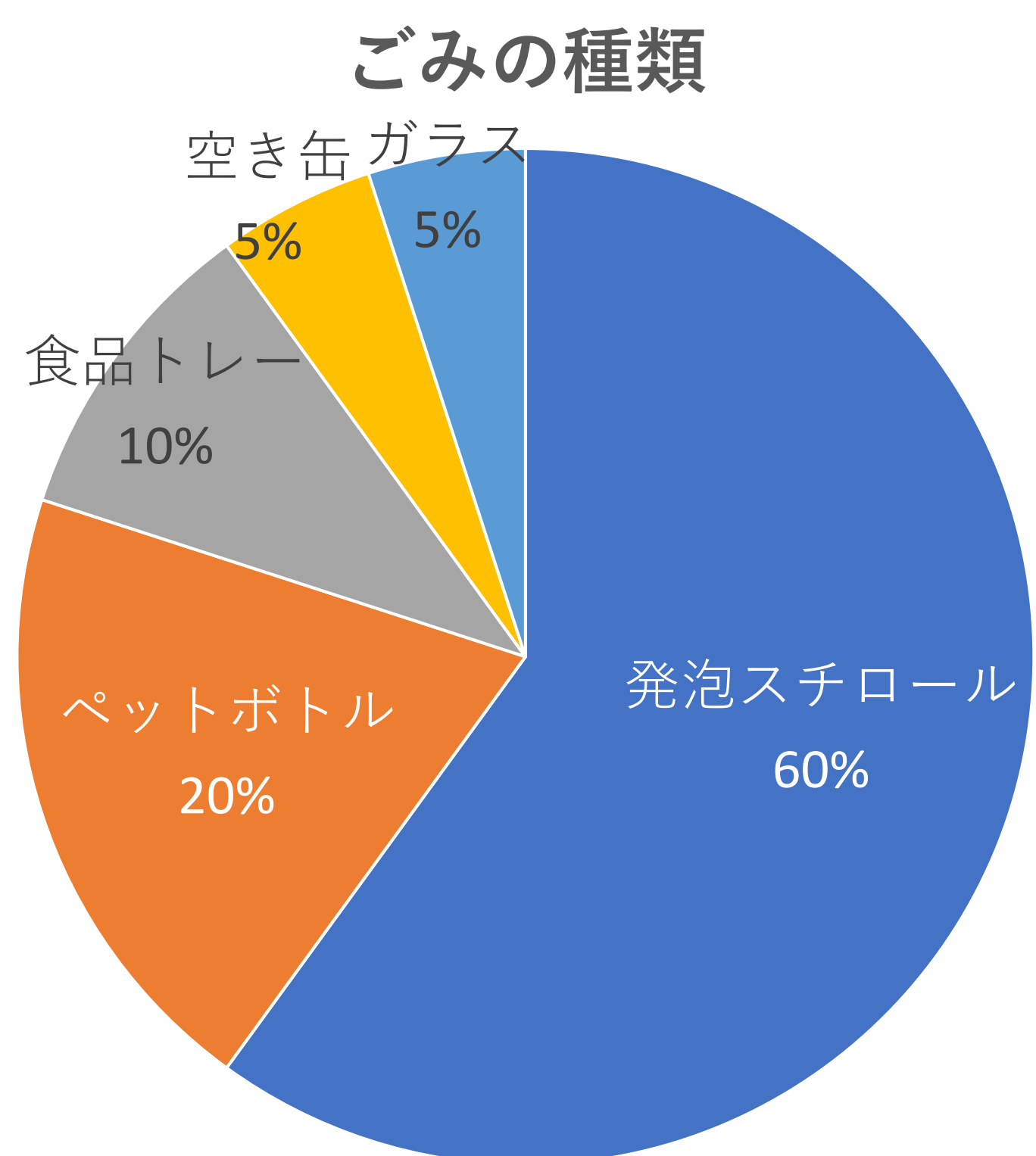


研究の背景

世界中で海洋ごみによる環境や生き物への影響が問題となっている。
→宇和島市でも多くの海洋ごみを見ることがあり、この問題を私たちの手で解決したいと考えた。

現状

宇和島市（日浦）の海岸で調査を行い、ごみの状況について確認した。かなりの量のごみが漂着しており、海岸のくぼみの地形が特に多かった。
ごみの種類については、下記のグラフのとおりである。
6割が発泡スチロール（ブイ）で養殖業等で使われるものも多く見られた。ペットボトル等の小さいごみも多く、人の意識によって、ごみが削減できるのではないかと強く感じた。ごみではないが、流木などが流れ着いたものもあった。ガラスは砂浜に埋まっているものも多く、裸足で歩くと危ない状況の物もあった。



海洋ごみの問題点

- ・海の汚染により漁業への影響により経済的ダメージ
- ・生き物の誤飲・誤食やロープの絡まりにより生態系に影響
- ・ごみ回収のために莫大な費用がかかる など

仮説

海洋ごみの商品化により、海洋ごみの現状を多くの人に知ってもらい、豊かな自然を守ろうという意識が高まるのではないかな。

研究方法

- ①海洋ごみの商品化
海洋ごみのガラスなどをレジンで固め、キーホルダーなどを作成する。
- ②商品の販売
様々なイベントで実際に販売し、販売時に海洋ごみについて説明する。海洋ごみの説明を書いたチラシを同封する。
- ③売上の活用
材料費以外は募金等で地域貢献のために活用したい。



今後の予定

- ・他のごみの活用方法について考える。
- ・キーホルダーは手軽に作れるため、地域の子どもたちと一緒に作るワークショップなどを計画し、啓発活動の幅を広げる。
- ・商品販売と一緒に配布するパンフレットや掲示するポスターなどを作成しもっと多くの人に海洋ごみについて知ってもらう。